

既存システムそのままに、
後づけ・簡単設定で
設備のIoT化を実現!



スモール IoT

生産進捗

後づけ

稼動監視

簡単設定

進捗監視

装置名

本日実績 表示範囲

合計 2直

計画 100

総実績 98

差異 -107

-2

理想タクトタイム 2:00

タクトタイム 2:23

サイクルタイム 1:43

残時間(分) 25

2026/03/01 16:42

1-/3

作業者No. 3456

計画 総実績 実績

e-LoT

easy & Loving IoT System

設備の生産性の見える化を
「低コスト」「簡単設定」で実現するIoTツール

**3ステップで
立上げ完了**
(基本モデルの場合)

STEP 1
配線

e-LIoT 本体へ
『生産数・運転・停止・警報』の4つの信号を配線する

STEP 2
接続

LANネットワークの環境を構築する
(表示端末からe-LIoTにアクセス)

STEP 3
設定

Webブラウザ画面で
『装置名・接続機種・生産計画値』など各種設定を実施

STEP 3
設定

Webブラウザ
画面表示

専用ソフトウェアの
インストール不要

進捗監視

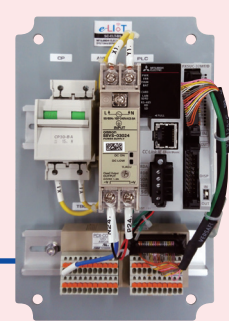
稼働監視

専用表示器は不要
お手持ちのタブレット・スマートフォンで
装置状態を確認 (パソコンでも画面表示可能)



無線LAN

無線LAN
アクセス
ポイント



e-LIoT 本体
(ベース板タイプ: 盤内設置用)

STEP 2
接続

ソフトウェアは信頼性の高い
三菱電機製シーケンサにプリインストール済み
パソコンレスで立上作業を容易化

CSV
17:00: 10 1,000 0
17:00: 11 1,001 1
17:00: 12 1,002 0
17:00: 13 1,003 1
17:00: 14 1,004 0

ログイングデータ
(最大1年分)

**ログイングデータ
活用ツール**

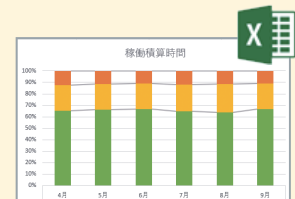
ダウンロード



e-LIoTに保存されている
ログイングデータをExcel上で
グラフ化・分析



生産実績グラフ



稼働積算時間グラフ

現場
改善活動へ
有効活用

STEP 1
配線

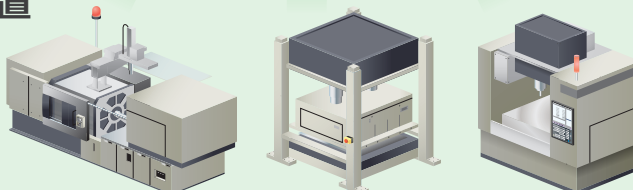
生産数

稼働状況 (運転・停止・警報)

生産ライン・装置

(適用装置例)

- 組立装置
- 加工装置
- 検査装置 など



最大16台
接続可能

設備信号と繋ぎ、生産・稼働監視

進捗監視

進捗状況を基にした計画や人員配置のリアルタイムな見直しなど、生産管理の業務効率化へつなげる。

現場の課題 現状の生産実績はアンドンなどで確認できるが、時間単位での生産進捗状況の把握が難しい。

導入効果 時間毎の1日の生産進捗状況が、一目瞭然。タイムリーな現状把握で適切な生産計画(人員配置)の見直しが可能となり、生産管理の業務効率化を実現。

生産計画に対する進捗状況が一目で分かる



生産におけるタクトタイム、サイクルタイムが分かる

1	ページ番号	矢印をクリックすることで監視装置を切り替える。
2	装置名	装置の名称を表示する。
3	作業者No.	現在直の作業者No.を表示する。
4	本日/前日実績	選択すると表示する実績データを本日/前日で切り替える。
5	表示延長	グラフの表示時刻を変更する。残業が発生し、計画した就業時刻以降の表示をしたいときに使用する。
6	計画	1~3直※1の生産計画の合計値、及び直毎の計画値を表示する。
7	総実績	現在の1~3直の生産実績の合計値、及び直毎の生産実績値を表示する。 前日実績を表示中は前日の最終時点の実績を表示する。
8	差異	計画値と総実績値の差異、及び就業時間中の直の計画値と実績値の差異を表示する。
9	グラフ表示領域	生産進捗/計画グラフを表示する。
10	理想タクトタイム	計画値設定画面で設定された値を表示する。
11	タクトタイム	1生産実績(1個、1ショット)あたりにかけた時間を表示する。
12	サイクルタイム	直近の実績の間隔(前回実績入力~今回実績入力までの時間)を表示する。
13	残時間	タクトタイム × 残数で計算した結果を表示する。

※1: 直:シフト勤務体系。e-LIoTでは1~3直の勤務体系を管理できます。

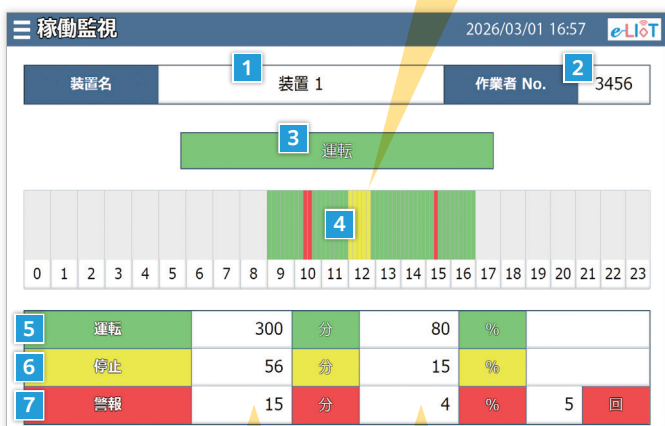
稼働監視

チョコ停・ドカ停などトラブルが多い装置を発見。装置の改善・メンテナンスで稼働率向上へつなげる。

現場の課題 各装置の運転ステータスや停止・時間など、稼働状況が見えない。非効率な設備運用により、本来の生産能力を發揮できない。

導入効果 稼働監視で各装置の運転状況が見える化。チョコ停・ドカ停などボトルネックとなる工程や装置を発見し、改善活動をスピードアップ。

10分ごとの稼働状態が見える化



『運転・停止・警報』時間と全体比率を表示

1	装置名	装置の名称を表示する。
2	作業者No.	現在直の作業者No.を表示する。
3	現在稼働状況	各装置の現在の稼働状況を表示する。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 運転中 : 運転(緑※2) ■ 停止中 : 停止(黄※2) ■ 警報中 : 警報(赤※2) ■ 状態なし : 入力信号なし(白) ■ 前日表示中 : 過去表示モード(白)
4	稼働状態	10分ごとの稼働状態を以下の色でグラフ表示する。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 運転中 : 緑 ※2 ■ 停止中 : 黄 ※2 ■ 警報中 : 赤 ※2 ■ 状態なし : 入力なし(色なし)
5	運転状態詳細	運転状態であった時間(分)と全体(運転・停止・警報)との比率(%) ※3を表示する。
6	停止状態詳細	停止状態であった時間(分)と全体(運転・停止・警報)との比率(%) ※3を表示する。 ※4
7	警報状態詳細	警報状態であった時間(分)と全体(運転・停止・警報)との比率(%) ※3を表示する。

※2: 稼働状態の名称と表示色については別途、設定画面で変更することができます。
 ※3: 小数点は切り捨てで表示されるため、合計が100%にならないことがあります。
 ※4: 無線通信モデルは停止信号の入力はできません。

システムラインアップ

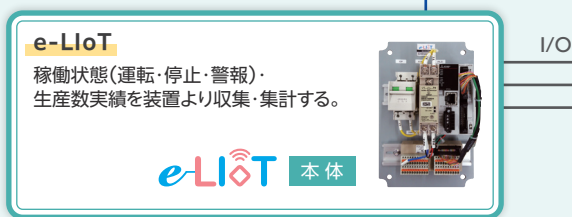
監視対象設備の装置数、信号の入力方式により『基本モデル』、『CC-Link IE Field Basic モデル』、『無線通信モデル』、『積層表示灯センサモデル』を選択してください。

お手軽に装置を見える化

基本モデル

装置からの稼働信号をe-LIoT内蔵の入力端子に直接入力するモデルです。

形名	EL-AA1J-B11○
接続可能装置数	1～3
入力方式	直接入力

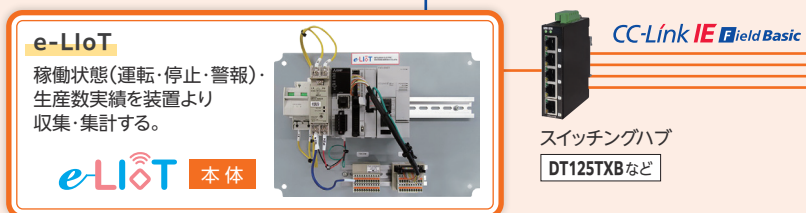


複数装置をネットワーク化

CC-Link IE Field Basic モデル

装置からの稼働信号をリモートI/Oユニットを使用して、CC-Link IE Field Basicで接続されたe-LIoTに入力するモデルです。

形名	EL-AA1J-C11○R△
接続可能装置数	1～16
入力方式	リモートI/O (1ユニットで最大4装置)

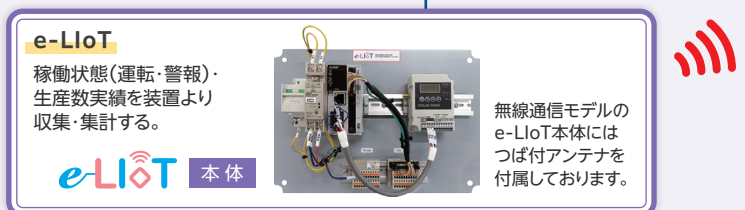


監視信号を無線化

無線通信モデル

装置からの稼働信号を920MHz帯無線ユニットを使用して、離れた位置にあるe-LIoTに入力するモデルです。

形名	EL-AA2J-M11○W△
接続可能装置数	1～8
入力方式	920MHz帯 無線ユニット



形名体系

EL-AA1J-□○△

基本形名・バージョン ① ② ③

① 本体モデル

B11	基本モデル
C11	CC-Link IE Field Basic モデル
M11	無線通信モデル
M21	積層表示灯センサモデル

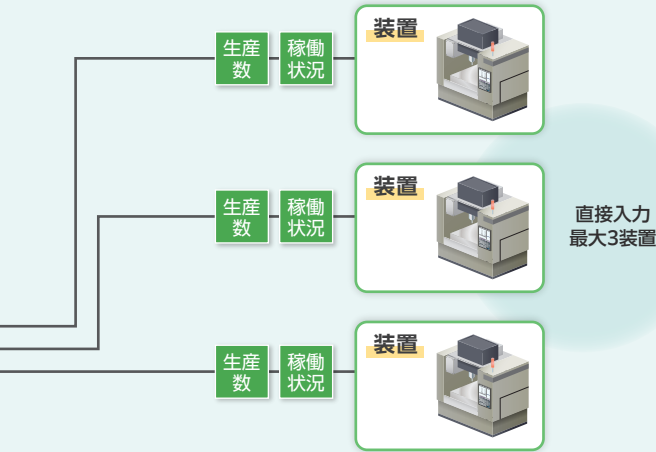
② 本体形状

0	ベース板
1	ボックス 基本モデル
	無線通信モデル
2	ボックス 無線通信モデル
	積層表示灯センサモデル

③ 接続装置数

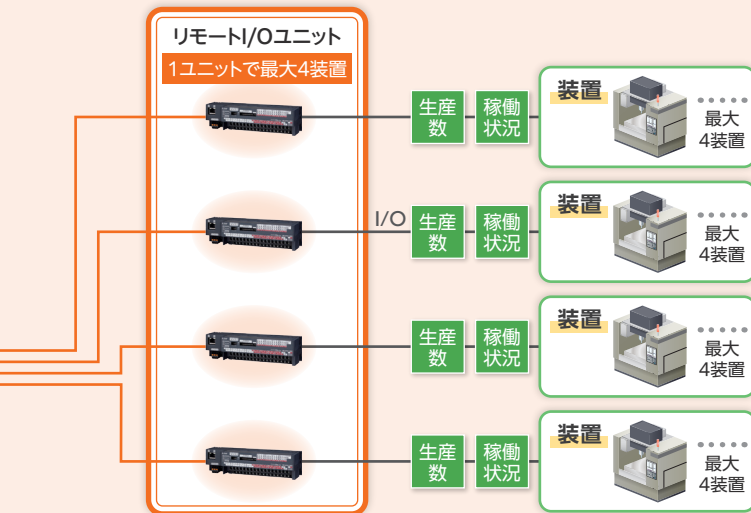
R	04,08,12,16	CC-Link IE Field Basic モデル
W	01 ~ 08	無線通信モデル 積層表示灯センサモデル

※01 ~ 16の数字が接続可能な装置数になります。



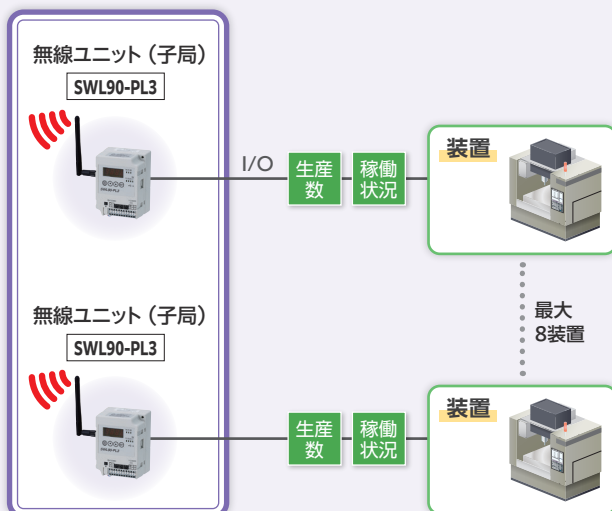
I/O割付 (最大3装置を監視可能)

I/O	名称	概要
X0	初期化	5秒ONでシーケンサのIPアドレスを出荷時へ戻す
X1	メーカー使用	使用不可
X2	メーカー使用	使用不可
X3	メーカー使用	使用不可
X4	装置1	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
X5		運転信号 装置の運転中信号
X6		停止信号 装置の停止中信号
X7		警報信号 装置の警報中信号
X10	装置2	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
X11		運転信号 装置の運転中信号
X12		停止信号 装置の停止中信号
X13		警報信号 装置の警報中信号
X14	装置3	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
X15		運転信号 装置の運転中信号
X16		停止信号 装置の停止中信号
X17		警報信号 装置の警報中信号



I/O割付 (リモートI/Oでは1台のユニットで最大4装置を監視可能)

I/O	名称	概要
X0	装置1	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
X1		運転信号 装置の運転中信号
X2		停止信号 装置の停止中信号
X3		警報信号 装置の警報中信号
X4	装置2	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
X5		運転信号 装置の運転中信号
X6		停止信号 装置の停止中信号
X7		警報信号 装置の警報中信号
X8	装置3	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
X9		運転信号 装置の運転中信号
XA		停止信号 装置の停止中信号
XB		警報信号 装置の警報中信号
XC	装置4	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
XD		運転信号 装置の運転中信号
XE		停止信号 装置の停止中信号
XF		警報信号 装置の警報中信号



I/O割付

I/O	名称	概要
PL1	装置1 無線ユニット (1台目)	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
PL2		運転信号 装置の運転中信号
PL3		警報信号 装置の警報中信号
⋮		
PL1	装置8 無線ユニット (8台目)	実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)
PL2		運転信号 装置の運転中信号
PL3		警報信号 装置の警報中信号

〈注意事項〉

無線ユニットは、電波干渉などにより設置時に別途パラメータの設定が必要となる場合があります。
停止信号の入力はできません。

システムラインアップ

監視対象設備の装置数、信号の入力方式により

『基本モデル』、『CC-Link IE Field Basic モデル』、『無線通信モデル』、『積層表示灯センサモデル』を選択してください。

既設の積層表示灯を簡単監視

積層表示灯センサモデル

既存設備に積層表示灯センサをバンドで取り付けるだけで点灯状態を工事レスでe-LIoTに取得することができるモデルです。

形名

EL-AA2J-M212W△

接続可能装置数

1～8

入力方式

920MHz帯 無線ユニット
(積層表示灯センサ)

表示端末 本システムの画面を表示する。
ブラウザでe-LIoTへアクセスし、遠隔監視する。

タブレット



スマートフォン



無線LAN
アクセスポイント
AW5500など

Ethernet

e-LIoT

稼働状態(運転・警報)・生産数実績を
装置より収集・集計する。

eLIOT 本体



積層表示灯センサモデルのe-LIoT本体には
つば付アンテナを付属しております。



形名体系

EL-AA1J-□○△

基本形名・バージョン ① ② ③

①本体モデル

B11	基本モデル
C11	CC-Link IE Field Basic モデル
M11	無線通信モデル
M21	積層表示灯センサモデル

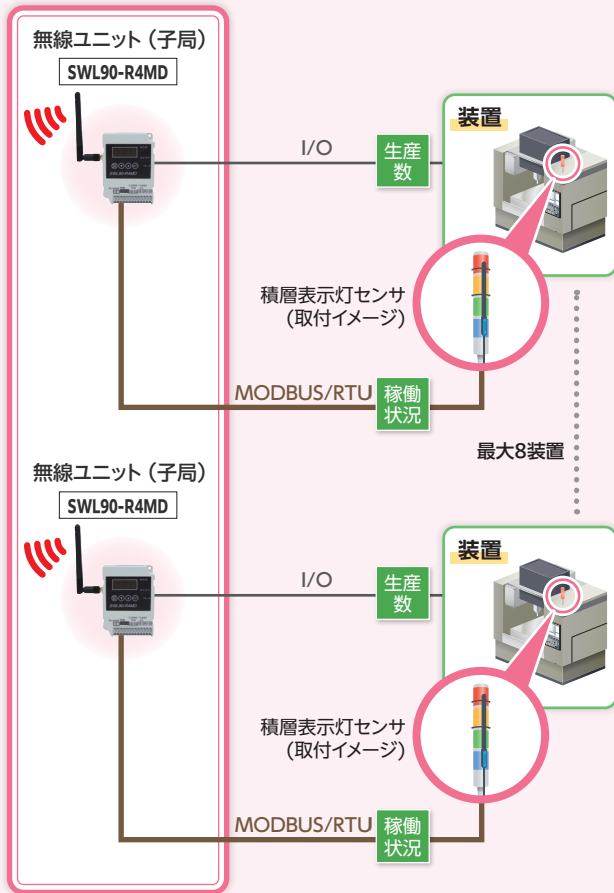
②本体形状

0	ベース板
1	ボックス 基本モデル
	CC-Link IE Field Basic モデル
2	ボックス 無線通信モデル
	無線通信モデル
	積層表示灯センサモデル

③接続装置数

R	04,08,12,16	CC-Link IE Field Basic モデル
W	01 ~ 08	無線通信モデル 積層表示灯センサモデル

※01 ~ 16の数字が接続可能な装置数になります。



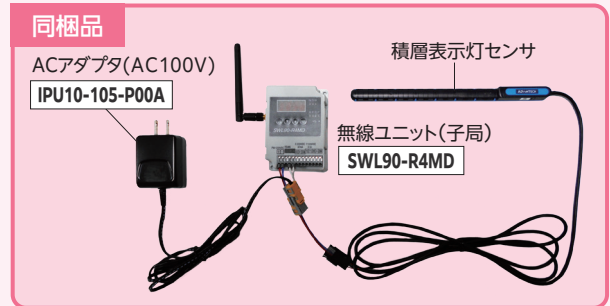
信号割付

信号	名称	概要
通信1	無線 ユニット (1台目)	運転信号 ※1 装置の運転中信号
通信2		停止信号 ※1 装置の停止中信号
通信3		警報信号 ※1 装置の警報中信号
I/O		実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)

信号	名称	概要
通信1	無線 ユニット (8台目)	運転信号 ※1 装置の運転中信号
通信2		停止信号 ※1 装置の停止中信号
通信3		警報信号 ※1 装置の警報中信号
I/O		実績信号 生産数実績入力(立ち上りで1カウント)

〈注意事項〉

無線ユニットは、電波干渉などにより設置時に別途パラメータの設定が必要となる場合があります。



※1: 信号名称は変更可能です。

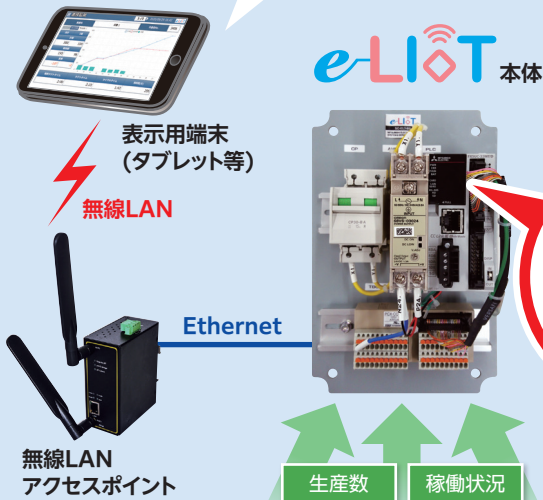
⚠ 無線ユニットの通信性能を十分に発揮させるためにはアンテナの設置に注意を払う必要があります。
アンテナの設置の詳細については、当社Webサイト掲載の「アンテナ敷設マニュアル」を参照ください。

ロギングデータ活用ツール

本ツールはExcel上で動作するマクロファイルです。
e-LIoTに保存されているロギングデータを活用し
長期間の生産実績グラフ・稼働積算時間グラフを
作成・表示、データ分析することが可能です。

2日分のデータ表示

進捗監視画面/稼働監視画面(P3参照)

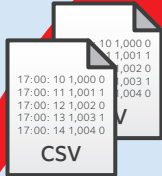


長期間(1年)の ロギングデータ 表示



パソコン

ダウンロード

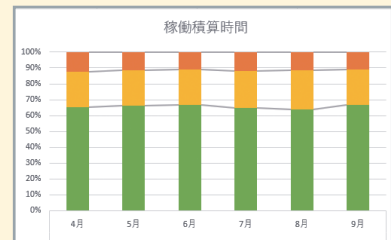


ロギングデータ
(最大1年分)

SDメモリーカード
(実績・稼働データ)



生産実績グラフ



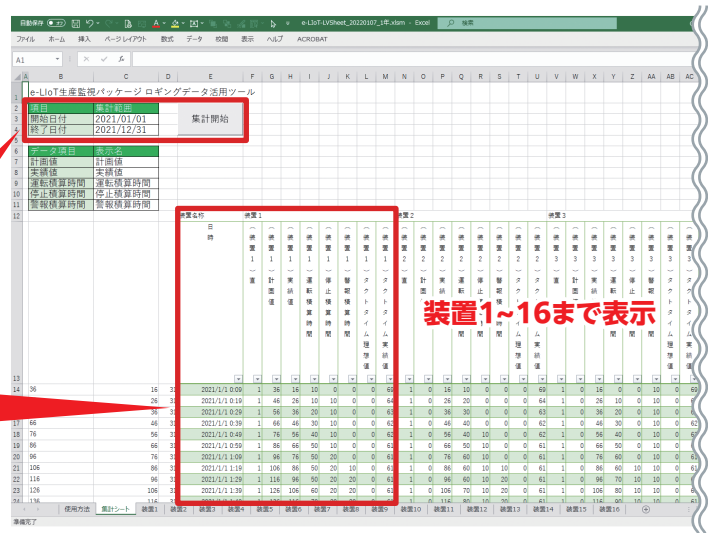
稼働積算時間グラフ

集計シート

開始日付・終了日付を入力して
集計開始を押すと集計結果が
表示されます。

項目	集計範囲	集計開始
開始日付	2021/01/01	集計開始
終了日付	2021/12/31	

装置名称	a	b	c	d	e	f	g	h	i
日時	(装置1)直	(装置1)計画値	(装置1)実績値	(装置1)運転積算時間	(装置1)停止積算時間	(装置1)警報積算時間	(装置1)タクトタイム理想値	(装置1)タクトタイム実績値	
2021/1/1 0:09	1	36	16	10	0	0	0	69	
2021/1/1 0:19	1	46	26	10	10	0	0	64	
2021/1/1 0:29	1	56	36	20	10	0	0	63	
2021/1/1 0:39	1	66	46	30	10	0	0	62	
2021/1/1 0:49	1	76	56	40	10	0	0	62	
2021/1/1 0:59	1	86	66	50	10	0	0	61	
2021/1/1 1:09	1	96	76	50	20	0	0	61	
2021/1/1 1:19	1	106	86	50	20	10	0	61	
2021/1/1 1:29	1	116	96	50	20	20	0	61	

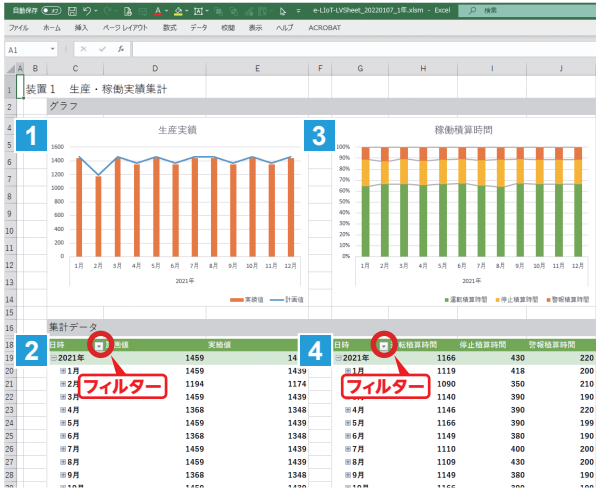


表示・設定項目

項目	内容	データ数
a 日時	ロギングデータのレコードが記録された日時を表示する。	1~16 装置分
b 直	ロギングデータのレコードが記録された際の直を表示する。	
c 計画	該当装置の総計画値を表示する。	
d 実績	該当装置の総実績値を表示する。	
e 運転積算時間	該当装置の運転積算時間(分)を表示する。	
f 停止積算時間	該当装置の停止積算時間(分)を表示する。	
g 警報積算時間	該当装置の警報積算時間(分)を表示する。	
h タクトタイム理想値	該当装置の理想タクトタイム(秒)を表示する。	
i タクトタイム実績値	該当装置のタクトタイム(秒)を表示する。	

装置別実績集計シート

生産効率
改善に向けた
データ分析が
可能に!

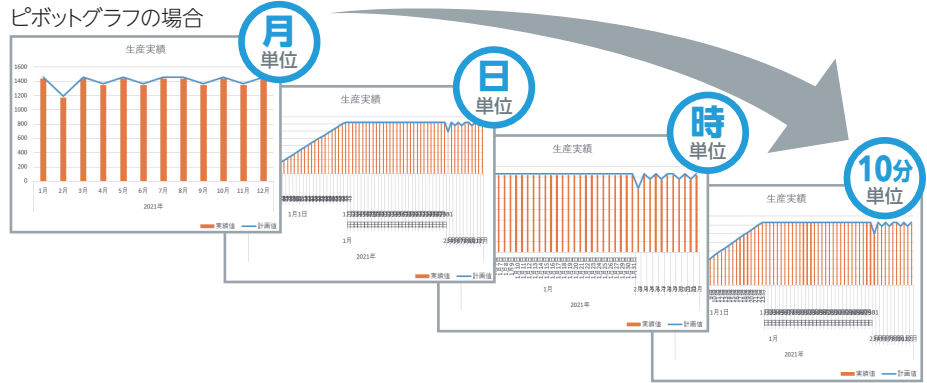


表示・設定項目	
項目	内容
1 生産実績 グラフ	進捗集計データを元に計画値・実績値を 組合せグラフで表示する。 計画値:折れ線グラフ 実績値:縦棒グラフ 各パラメータは以下色で表示する。 ■計画値:青 ■実績値:橙
2 進捗集計 データ	集計シート1装置分の計画値・実績値より ピボットテーブルを表示する。 日時データに対してフィルターを行うことが可能。
3 稼働積算時間 グラフ	進捗集計データを元に運転積算時間・停止積算時間・ 警報積算時間を100%積み上げ縦棒グラフで表示する。 (区分線にて遷移を表示) 各パラメータは以下色で表示する。 ■運転時間:緑 ■停止時間:黄 ■警報時間:赤
4 稼働時間 集計データ	集計シート1装置分の運転時間・停止時間・警報時間より ピボットテーブルを表示する。 日時データに対してフィルターを行うことが可能。
5 タイムライン	現在の表示期間(月単位)を示す。 表示期間を年/四半期/月/日単位で変更することが可能。

生産実績・稼働状態をグラフと表で表示できます。
1装置1シートで作成され、最大で16シート
(16装置分)が新規作成されます。

ドリルダウン

ロギングデータを
月単位から10分単位まで
グラフ表示できます。
(生産実績 / 進捗集計
稼働積算時間 / 稼働時間集計)



タイムライン(上記 5)

過去の蓄積データをスムーズに見える化・分析。

Excelのタイムライン機能を使用し
進捗・稼働時間の集計データをそれぞれ表示できます。
※初期表示は全集計期間

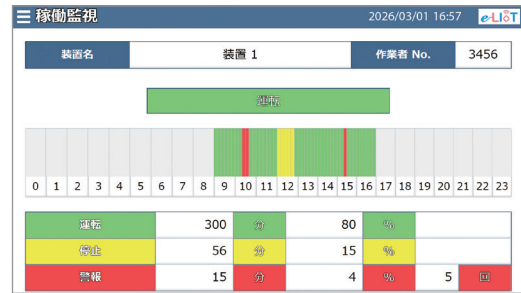


システム画面イメージ

進捗監視画面



稼働監視画面 (詳細)



警報履歴画面

装置名	メッセージ	発生日時	復旧日時	状態
装置3	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 19:10	2026/03/01 19:10	復旧
装置3	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 19:10	2026/03/01 19:10	復旧
装置1	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 18:50	2026/03/01 18:50	復旧
装置3	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 18:50	2026/03/01 18:50	復旧
装置2	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 18:50	2026/03/01 18:50	復旧
装置2	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 18:50	2026/03/01 18:50	復旧
装置3	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 18:50	2026/03/01 18:50	復旧
装置1	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 17:20	2026/03/01 17:20	復旧
装置1	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 17:20	2026/03/01 17:20	復旧
装置2	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 16:44	2026/03/01 16:44	復旧
装置3	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 16:43	2026/03/01 16:44	復旧
装置1	装置の警報が発生しました。	2026/03/01 16:43	2026/03/01 16:43	復旧
装置2	通信異常が発生しました。	2026/02/28 19:21	2026/02/28 19:24	復旧
装置2	通信異常が発生しました。	2026/02/28 19:16	2026/02/28 19:18	復旧
装置2	通信異常が発生しました。	2026/02/24 18:18	2026/02/24 18:19	復旧
装置2	通信異常が発生しました。	2026/02/24 17:09	2026/02/24 17:36	復旧

通信確認画面

機器	収集項目				通信
	実績	運転	停止	警報	
本体 I/O 1	OFF	OFF	OFF	OFF	OK
本体 I/O 2	OFF	OFF	OFF	OFF	OK
本体 I/O 3	OFF	OFF	OFF	OFF	OK

メインメニュー画面



初期設定画面

使用	装置名	機種	通信状態
<input checked="" type="checkbox"/>	装置1	本体 I/O 1	接続
<input checked="" type="checkbox"/>	装置2	本体 I/O 2	接続
<input checked="" type="checkbox"/>	装置3	本体 I/O 3	接続
<input type="checkbox"/>			非接続
<input type="checkbox"/>			非接続
<input type="checkbox"/>			非接続
<input type="checkbox"/>			非接続
<input type="checkbox"/>			非接続
<input type="checkbox"/>			非接続
<input type="checkbox"/>			非接続

システム画面一覧

カテゴリ	画面名	概要
共通機能	ログイン画面	e-LLoTにアクセスすると最初に表示される画面。ユーザ名・パスワードによりユーザを認証する。
	メインメニュー画面	ログイン直後に表示される画面。各機能へアクセスするためのメニュー画面。
監視・設定機能	進捗監視画面	生産数の実績の推移をグラフィカルに表示する。計画に対する実績の推移などをリアルタイムに把握する。[最大2日間の表示]
	稼働監視画面	装置の稼働状態(運転・停止・警報)の履歴をグラフィカルに表示する。装置稼働状態の安定性を把握する。[最大2日間の表示]
	稼働監視詳細画面	各装置の稼働状況(運転・停止・警報)の履歴をグラフィカルに表示する。運転・停止・警報の割合を表示する。
	初期設定画面	監視する装置の名称や監視に使用する機種(リモートI/O、無線ユニットなど)を設定する。 システムに関わるシステム時刻、凡例、IPアドレスなどを設定する。
	計画値設定画面	進捗監視画面で使用する装置ごとの直・就業時間や生産数の計画値を入力する。 最大2ヶ月分(当月・翌月)の生産計画を設定する。
メンテナンス	警報履歴画面	装置の警報の発生時刻・発生/復旧状態を履歴表示する。[最大100件の履歴]
	通信確認画面	信号入力する端末(リモートI/Oユニット、無線ユニット)の接続状況やI/Oの入力状態を表示する。

システム仕様

監視項目 (1装置あたり)

項目	内容
実績入力	1点
運転状態	1点
停止状態 ※1	1点
警報状態	1点

データ保持期間

項目	内容
進捗監視	2日間 (当日および前日)
稼働監視	2日間 (当日および前日)
警報履歴	直近100件
計画値設定	2ヶ月間 (当月および翌月)
ロギングデータ	1年間

制約事項

項目	内容
計量範囲 (実績入力)	1日あたり最大1,000,000カウントまで
監視装置台数	1~ 16装置/システム(本体モデルにより異なります)
登録ユーザ数	1ユーザ ※2

※1: 無線通信モデルは停止信号の入力はできません。

※2: 表示端末からe-LLoTへの同時接続は1端末を推奨いたします。複数端末でログインすると画面表示速度が低下する場合があります。

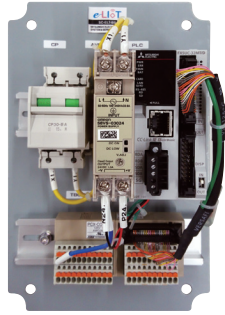
動作環境

項目	内容
LANネットワーク	Ethernet (100BASE-TX以上)
対応ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

本体の外観イメージ ※e-LIoT【基本モデル】の場合

■ ベース板タイプ

材質: 鋼板 (ネジ付属)



■ ボックスタイプ


材質: 樹脂




形名・同梱品一覧

■ e-LIoT 本体 ベース板タイプ

基本モデル		
装置接続数	形名	同梱品
3	EL-AA1J-B110	—

CC-Link IE Field Basicモデル			
装置接続数	形名	同梱品	
		品名	数量
4	EL-AA1J-C110R04	リモートI/Oユニット 	1
8	EL-AA1J-C110R08		2
12	EL-AA1J-C110R12		3
16	EL-AA1J-C110R16		4

無線通信モデル			
装置接続数	形名	同梱品	
		品名	数量
1	EL-AA2J-M110W01	無線ユニット(子局) SWL90-PL3 	1
2	EL-AA2J-M110W02		2
3	EL-AA2J-M110W03		3
4	EL-AA2J-M110W04		4
5	EL-AA2J-M110W05		5
6	EL-AA2J-M110W06		6
7	EL-AA2J-M110W07		7
8	EL-AA2J-M110W08		8

■ システム関連製品

品名	形名
産業用スイッチングハブ	DT125TXB
無線LANアダプタ	AW5500
SWL90-PL3用リチウム電池	CR17450A-2 WK153
無線ユニット用ACアダプタ	IPU10-105-P00A





システム関連製品の詳細は
当社Webサイトにてご覧いただけます

www.melco.co.jp/business/product/




■ e-LIoT 本体 ボックスタイプ

基本モデル		
装置接続数	形名	同梱品
3	EL-AA1J-B111	—

CC-Link IE Field Basicモデル			
装置接続数	形名	同梱品	
		品名	数量
4	EL-AA1J-C112R04	リモートI/Oユニット 	1
8	EL-AA1J-C112R08		2
12	EL-AA1J-C112R12		3
16	EL-AA1J-C112R16		4

無線通信モデル			
装置接続数	形名	同梱品	
		品名	数量
1	EL-AA2J-M112W01	無線ユニット(子局) SWL90-PL3 	1
2	EL-AA2J-M112W02		2
3	EL-AA2J-M112W03		3
4	EL-AA2J-M112W04		4
5	EL-AA2J-M112W05		5
6	EL-AA2J-M112W06		6
7	EL-AA2J-M112W07		7
8	EL-AA2J-M112W08		8

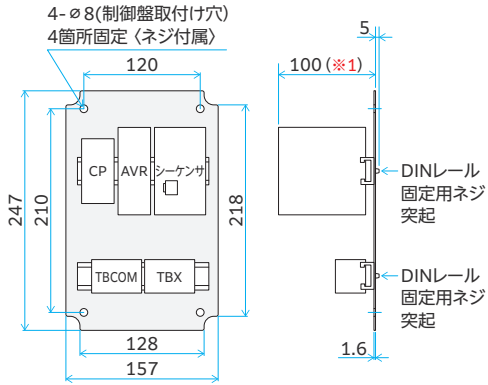
■ 積層表示灯センサモデル

装置接続数	形名	同梱品	
		品名	数量
1	EL-AA2J-M212W01	無線ユニット(子局) SWL90-R4MD 	1
2	EL-AA2J-M212W02		2
3	EL-AA2J-M212W03		3
4	EL-AA2J-M212W04		4
5	EL-AA2J-M212W05	積層表示灯センサ 	5
6	EL-AA2J-M212W06	ACアダプタ (100V) IPU10-105-P00A 	6
7	EL-AA2J-M212W07		7
8	EL-AA2J-M212W08		8

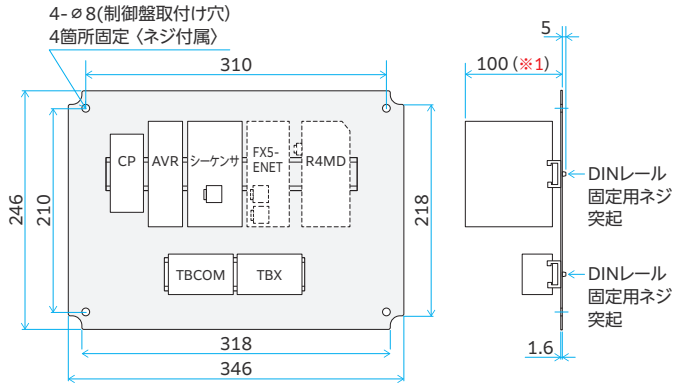
※納期・価格については別途お問合せください。

外形寸法図 (単位:mm)

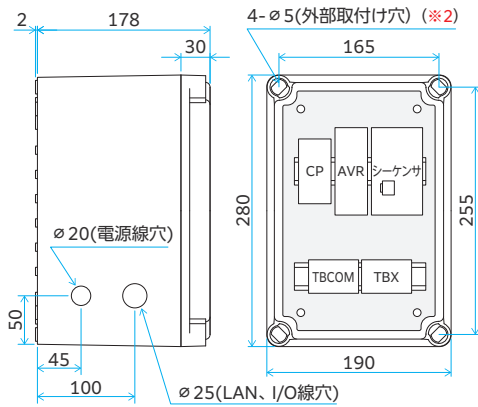
■【EL-AA1J-B110】 ベース板タイプ



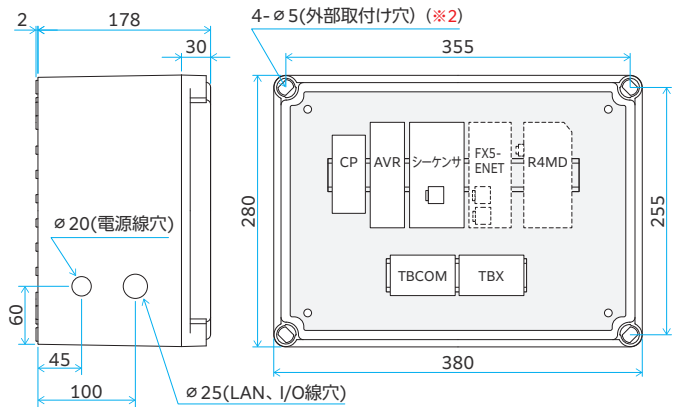
■【EL-AA1J-C110R△, EL-AA2J-M110W△】 ベース板タイプ



■【EL-AA1J-B111】 ボックスタイプ



■【EL-AA1J-C112R△, EL-AA2J-M112W△, EL-AA2J-M212W△】 ボックスタイプ



※1: 機器寸法のみ記載。(ケーブル除く) ※2: ネジは同梱されておりません。取付する場合、設置環境に合わせてネジを選定してください。M5ネジ (4箇所固定)

Microsoft, windows, Excel, Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 イーサネット、ETHERNET, Ethernetは富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標です。
 MODBUSは、シュナイダー・エレクトリック・ユーエスエー・インコーポレーテッドの登録商標です。 Google Chromeは、Google LLCの商標です。
 Safariは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。 CC-Link IE Fieldは、三菱電機株式会社の登録商標です。
 e-LIoTは三菱電機システムサービス株式会社の登録商標です。 その他、本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

